

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2016年2月19日（当初設定日）から無期限です。	
運用方針	世界主要市場のバイオ医薬品関連企業の株式に投資することにより、信託財産の積極的な成長を目指します。	
主要投資対象	当ファンド	ピクテ・バイオ医薬品マザーファンド受益証券
	マザーファンド	世界のバイオ医薬品関連企業の株式
運用方法	①主として、マザーファンド受益証券に投資します。 ②実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主な投資制限	当ファンド	①株式への実質投資割合には制限を設けません。ただし、未上場株式および未登録株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 ②同一銘柄の株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 ③外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	マザーファンド	①株式への投資割合には制限を設けません。ただし、未上場株式および未登録株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 ②同一銘柄の株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 ③外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 ②収益分配金額は、基準価額の水準および市況動向等を勘案して委託者が決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。 ③留保益の運用については、特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	



PICTET

iTrustバイオ

運用報告書(全体版)

第4期

決算日：2020年4月13日

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、「iTrustバイオ」は、2020年4月13日に第4期の決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

ピクテ投信投資顧問株式会社

東京都千代田区丸の内2-2-1

お問い合わせ窓口

投資信託営業部

電話番号 03-3212-1805

受付時間：委託者の営業日の午前9時から午後5時まで

ホームページ：www.pictet.co.jp

■設定以来の運用実績

決算期	基準価額			株式 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率		
(設定日) 2016年2月19日	円 10,000	円 -	% -	% -	百万円 26
1期(2017年4月13日)	10,883	0	8.8	98.5	155
2期(2018年4月13日)	11,240	0	3.3	97.5	306
3期(2019年4月15日)	11,998	0	6.7	97.6	368
4期(2020年4月13日)	11,740	0	△2.2	99.1	365

(注1) 設定日の基準価額および純資産総額は、それぞれ当初設定価額および当初設定元本額を記載しています。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「株式組入比率」は、実質比率を記載しています。

(注3) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマークおよび参考指数は設定していません。

■当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		株式 組入比率
		騰落率	
(期首) 2019年4月15日	円 11,998	% -	% 97.6
4月末	11,564	△ 3.6	98.4
5月末	10,595	△11.7	98.4
6月末	10,921	△ 9.0	97.6
7月末	11,124	△ 7.3	98.7
8月末	10,599	△11.7	98.2
9月末	10,474	△12.7	99.1
10月末	11,483	△ 4.3	99.2
11月末	12,533	4.5	98.8
12月末	12,632	5.3	99.0
2020年1月末	11,950	△ 0.4	97.7
2月末	11,991	△ 0.1	99.6
3月末	11,194	△ 6.7	97.7
(期末) 2020年4月13日	11,740	△ 2.2	99.1

(注1) 騰落率は期首比です。

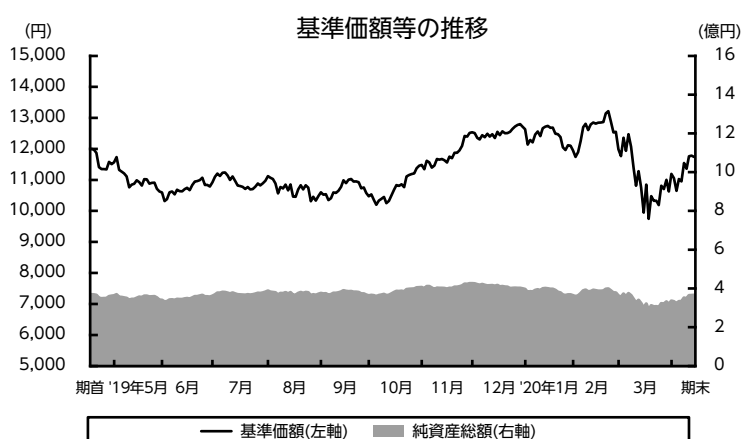
(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「株式組入比率」は、実質比率を記載しています。

(注3) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマークおよび参考指数は設定していません。

■当期中の運用状況と今後の運用方針 (2019年4月16日から2020年4月13日まで)

1. 基準価額等の推移

当期の基準価額は、2.2%の下落となりました。



○基準価額の高値・安値

期首	期中高値	期中安値	期末
19/4/15	20/2/21	20/3/17	20/4/13
11,998円	13,218円	9,746円	11,740円

◇主な変動要因

【当期前半】

- 下落↓ ・実質的に組入れているリジェネロン・ファーマシューティカルズ、アレクシオン・ファーマシューティカルズ、マイラン、ユナイテッド・セラピューティクスなどの株価が下落したこと
- 下落↓ ・円に対して米ドルが下落したこと

【当期後半】

- 上昇↑ ・実質的に組入れているリジェネロン・ファーマシューティカルズやバイオジェン、バーテッククス・ファーマシューティカルズ、ギリアド・サイエンシズなどの株価が上昇したこと
- 下落↓ ・円に対して米ドルが下落したこと

2. 投資環境

- ・ バイオ医薬品関連株式市場は、期首から4月末にかけて、2020年に実施される米大統領選挙を控えて国民皆保険制度「メディケア・フォー・オール」導入などの医療制度を巡る政治家の発言に注目が集まり、バイオ医薬品株式を含むヘルスケアセクターへの影響が懸念されたことなどから下落しました。5月は、米中貿易摩擦の激化懸念を背景に世界的に株式市場が下落する中、下落しました。6月は、米連邦準備制度理事会（FRB）が景気減速に備えて金融緩和に転じる可能性が高まったとの観測を背景に世界の株式市場が堅調な動きとなる中で上昇しました。7月から10月中旬にかけては、米上院金融委員が「薬剤費抑制のための処方薬薬価引き下げ法案」を可決したことや、米大統領選の民主党候補指名争いで左派のエリザベス・ウォーレン上院議員が急速に支持を伸ばしたことなどを背景に、ヘルスケアセクターへの影響が懸念されて下落しました。その後10月下旬にかけては、バイオジェンが2019年3月に開発を中止したアルツハイマー病治療薬候補について2020年に承認申請を行うことを発表したことなどが好感され、上昇しました。11月から12月までは、良好な治験結果や相次いだM&A（合併・買収）の動きを好感して上昇しました。1月から3月中旬にかけては、中国で発生した新型コロナウイルスの脅威が市場の重石となり、世界経済への先行き懸念から世界の株式市場が下落する中、バイオ医薬品関連市場も下落しました。その後期末にかけては、FRBによる流動性供給や米国政府による過去最大規模の経済支援政策が決定されたこと、新型コロナウイルス対応ワクチン開発や治験が速やかに進むとの期待から、上昇に転じました。
- ・ 為替市場は、期首から8月にかけて、米中貿易摩擦の激化や世界的な景気減速への懸念などを背景にFRBによる利下げ観測が高まったことから米金利が低下し、米ドル安・円高が進行しました。その後は、米中貿易協議の進展に対する期待が高まったこと、FRBによる早期の大幅利下げ観測が後退したことなどをを受けて10月中旬にかけて円安・米ドル高が進行しました。12月にかけては、米中貿易交渉の進展期待が高まったことから、米ドルは円に対して上昇しました。その後は、1月中旬にかけて、米中貿易協議の第一段階で署名したことなどを背景に、円安・ドル高が進行しました。1月下旬は、中国で発生した新型コロナウイルスの感染拡大で、世界経済への懸念が一気に高まったことで、円高・ドル安となりました。2月から3月前半は、1月の米国雇用統計が堅調であったことなどを受け安定した米国経済を背景に、円安・ドル高に転じる局面もありましたが、新型コロナウイルス感染拡大懸念が欧州など世界的に広まったことを受けて投資家心理が冷え込み、急激に円高・ドル安が進行しました。その後期末にかけては、米国の財政政策拡大への期待などを背景に投資家のリスク回避姿勢が後退したことから一時的に円安・ドル高となる場面もありました。

3. 組入状況

当ファンドが主要投資対象とするピクテ・バイオ医薬品マザーファンド受益証券への投資比率を高位に維持してまいりました。実質組入外貨建資産については、為替ヘッジを行いませんでした。

<マザーファンドの組入状況>

主に世界のバイオ医薬品関連企業の株式に投資を行ってまいりました。

◇国・地域別組入比率

【期首】

国・地域名	組入比率
米国	89.0%
スイス	5.4%
スペイン	2.0%
日本	0.7%
ケイマン諸島	0.6%
デンマーク	0.3%
フランス	0.2%



【期末】

国・地域名	組入比率
米国	93.2%
スペイン	3.5%
中国	1.4%
フランス	1.1%
アイルランド	0.2%
英国	0.1%

国・地域別では、米国などの比率が上昇しました。一方で、スイスなどの比率が低下しました。

◇業種別組入比率

【期首】

業種名	組入比率
バイオテクノロジー	71.5%
医薬品	17.4%
ライフサイエンス関連	8.3%
ヘルスケア機器・用品	0.9%



【期末】

業種名	組入比率
バイオテクノロジー	78.1%
医薬品	12.7%
ライフサイエンス関連	8.3%
ヘルスケア機器・用品	0.3%

業種別では、バイオテクノロジーや医薬品などに投資しました。

(注) 組入比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

◇組入上位10銘柄

【期首】

銘柄名	国名	業種名	組入比率
セルジーン	米国	バイオテクノロジー	8.9%
ギリアド・サイエンシズ	米国	バイオテクノロジー	8.3%
リジェネロン・ファーマシューティカルズ	米国	バイオテクノロジー	7.5%
バイオジェン	米国	バイオテクノロジー	6.5%
アレクシオン・ファーマシューティカルズ	米国	バイオテクノロジー	6.4%
アムジェン	米国	バイオテクノロジー	6.1%
ロシュ・ホールディング (ADR)	スイス	医薬品	5.4%
PRAヘルス・サイエンシズ	米国	ライフサイエンス関連	4.6%
バーテックス・ファーマシューティカルズ	米国	バイオテクノロジー	4.0%
サイネオス・ヘルス	米国	ライフサイエンス関連	3.7%

【期末】

銘柄名	国名	業種名	組入比率
アムジェン	米国	バイオテクノロジー	8.5%
バイオジェン	米国	バイオテクノロジー	8.4%
リジェネロン・ファーマシューティカルズ	米国	バイオテクノロジー	7.9%
ギリアド・サイエンシズ	米国	バイオテクノロジー	7.8%
インサイト	米国	バイオテクノロジー	6.5%
バーテックス・ファーマシューティカルズ	米国	バイオテクノロジー	5.6%
ユナイテッド・セラピューティクス	米国	バイオテクノロジー	5.3%
アレクシオン・ファーマシューティカルズ	米国	バイオテクノロジー	4.7%
PRAヘルス・サイエンシズ	米国	ライフサイエンス関連	4.7%
ジャズ・ファーマシューティカルズ	米国	医薬品	4.3%



(注) 組入比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

期末の組入上位銘柄は、

- － アムジェン : 白血球生成促進剤や関節リウマチ治療薬などが主力で、治療薬の発見、開発、製造、販売などを手掛ける。
- － バイオジェン : 神経学、腫瘍学、免疫学などを中心とした新薬の開発、製造、販売を行う。
- － リジェネロン・ファーマシューティカルズ : がんや慢性炎症、関節リウマチなどの治療薬の研究開発や商品化を手がける。
- － ギリアド・サイエンシズ : HIVやC型肝炎など感染症治療薬の分野に強みを持つ。
- － インサイト : がん免疫治療薬などがん領域を中心に医薬品の開発、製造、販売を行う。

などとなりました。

4. 収益分配金

当期の収益分配は、基準価額の水準および市況動向等を勘案し、見送りとさせていただきます。
なお、収益分配にあてなかった留保益の運用については、特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

◇分配原資の内訳

(単位：円・%、1万口当たり、税引前)

項目	第4期	
	自 2019年4月16日 至 2020年4月13日	
当期分配金		—
(対基準価額比率)		—
当期の収益		—
当期の収益以外		—
翌期繰越分配対象額		1,740

(注1) 対基準価額比率は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、当ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は小数点以下を切捨てて表示しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

5. 今後の運用方針

(1) 投資環境

バイオ医薬品関連企業は、画期的な治療薬を提供し続けるものと予想され、相対的に高い利益成長が期待されます。また魅力的な新薬候補や高い技術力を求めて大手医薬品企業がバイオ医薬品関連企業を買収する動きは継続すると見られ、これは株価にとってプラス要因になると見えています。今後、薬価引き下げの動きや治験結果の発表、決算の内容などが株価動向に影響を与える可能性などに注視が必要と考えます。また新型コロナウイルスの感染拡大が世界経済に悪影響を与え、株式市場全体の変動が大きくなる可能性にも注意が必要といえます。

(2) 投資方針

ピクテ・バイオ医薬品マザーファンド受益証券への投資を通じて世界のバイオ医薬品関連企業の株式に投資を行ってまいります。

実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

<マザーファンド>

世界のバイオ医薬品関連企業の株式に投資を行ってまいります。

■ 1万口（元本10,000円）当たりの費用明細

項目	当期 (2019年4月16日~2020年4月13日)		項目の概要
	金額	比率	
平均基準価額	11,421円	-	期中の平均基準価額（月末値の平均値）です。
(a) 信託報酬 (投信会社)	166円 (81)	1.455% (0.711)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ・ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、各種情報提供等、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(81)	(0.711)	・購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続等の対価
(受託会社)	(4)	(0.033)	・ファンドの財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	1	0.007	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
(株式会社)	(1)	(0.007)	・売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税	1	0.005	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
(株式会社)	(1)	(0.005)	・有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用	8	0.072	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(1)	(0.013)	・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(6)	(0.054)	・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(1)	(0.005)	・その他は、信託事務の処理等に要する諸費用
合計	176	1.539	

(注1) 上記の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、設定・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、各項目毎に小数第3位未満は四捨五入しています。

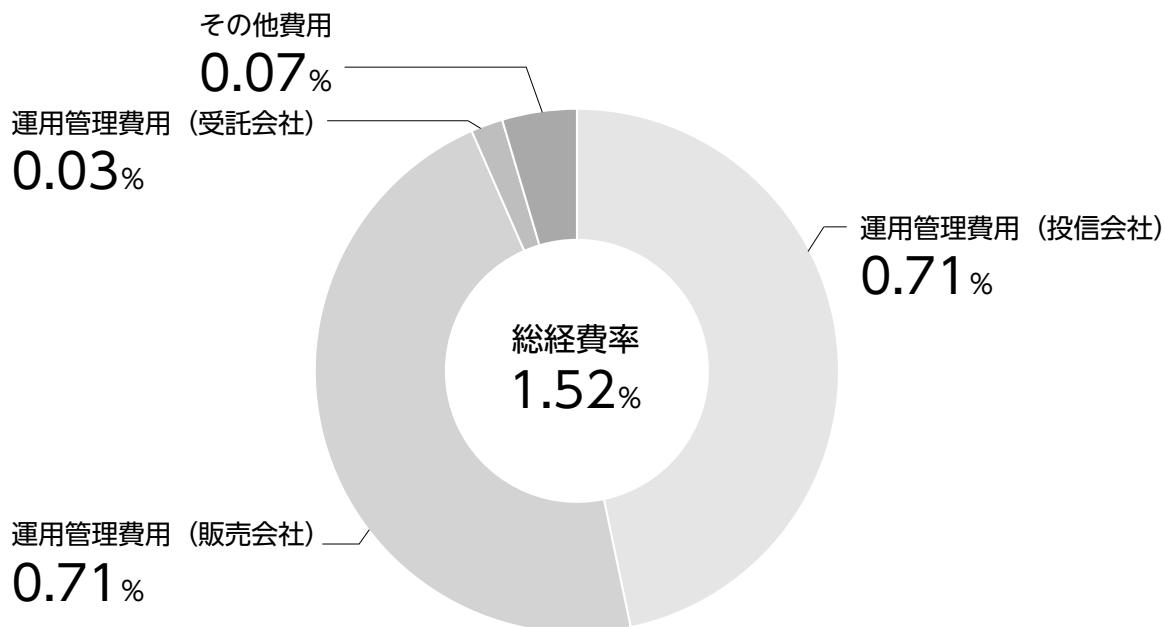
(注3) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注4) 各金額の円未満は四捨五入しています。

(参考情報)

■総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.52%**です。



(注1) 上記の費用は、「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

■親投資信託受益証券の設定、解約状況 (2019年4月16日から2020年4月13日まで)

	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
ピクテ・バイオ医薬品マザーファンド	23,741	121,580	23,924	129,540

(注) 単位未満は切り捨てています。

■親投資信託における株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
(a) 期中の株式売買金額	120,929,355千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	84,249,399千円
(c) 売買高比率(a)／(b)	1.43

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

(注2) 単位未満は切り捨てています。

■利害関係人との取引状況等 (2019年4月16日から2020年4月13日まで)

該当事項はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人をいいます。

■ **自社設定投資信託受益証券等の状況等** (2019年4月16日から2020年4月13日まで)

該当事項はありません。

■ **特定資産の価格等の調査** (2019年4月16日から2020年4月13日まで)

該当事項はありません。

■ **組入資産の明細** (2020年4月13日現在)

親投資信託残高

種類	期首(前期末)	当期末	
	□数	□数	評価額
	千□	千□	千円
ピクテ・バイオ医薬品マザーファンド	67,068	66,885	363,370

(注) 単位未満は切り捨てています。

■ **投資信託財産の構成** (2020年4月13日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
ピクテ・バイオ医薬品マザーファンド	363,370	98.7
コール・ローン等、その他	4,948	1.3
投資信託財産総額	368,318	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切り捨てています。

(注2) ピクテ・バイオ医薬品マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産 (76,690,151千円) の投資信託財産総額 (80,425,712千円) に対する比率は95.4%です。

(注3) ピクテ・バイオ医薬品マザーファンドにおける外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当期末における邦貨換算レートは、1米ドル=108.23円です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2020年4月13日現在)

項目	当期末
(A)資産	368,318,945円
コール・ローン等	4,948,846
ピクテ・バイオ医薬品 マザーファンド(評価額)	363,370,099
(B)負債	3,302,462
未払解約金	440,873
未払信託報酬	2,757,922
未払利息	13
その他未払費用	103,654
(C)純資産総額(A-B)	365,016,483
元本	310,909,967
次期繰越損益金	54,106,516
(D)受益権総口数	310,909,967口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,740円

■損益の状況

当期 (自2019年4月16日 至2020年4月13日)

項目	当期
(A)配当等収益	△ 2,450円
支払利息	△ 2,450
(B)有価証券売買損益	4,784,164
売買益	14,462,537
売買損	△ 9,678,373
(C)信託報酬等	△ 5,588,461
(D)当期損益金(A+B+C)	△ 806,747
(E)前期繰越損益金	△ 4,183,067
(F)追加信託差損益金	59,096,330
(配当等相当額)	(13,272,004)
(売買損益相当額)	(45,824,326)
(G)計(D+E+F)	54,106,516
(H)収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	54,106,516
追加信託差損益金	59,096,330
(配当等相当額)	(13,325,161)
(売買損益相当額)	(45,771,169)
分配準備積立金	640,490
繰越損益金	△ 5,630,304

<注記事項(当運用報告書作成時点では、監査未了です。)>
(貸借対照表関係)

(注1) 期首元本額	307,002,389円
期中追加設定元本額	185,781,387円
期中一部解約元本額	181,873,809円
(注2) 1口当たり純資産額	11,740円

- (注1) 損益の状況の中で**(B)有価証券売買損益**は期末の評価換えによるものを含まず。
- (注2) 損益の状況の中で**(C)信託報酬等**には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
- (注3) 損益の状況の中で**(F)追加信託差損益金**とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
- (注4) 第4期計算期間末における費用控除後の配当等収益(0円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(53,466,026円)および分配準備積立金(640,490円)より分配対象収益は54,106,516円(10,000口当たり1,740円)ですが、当期に分配した金額はありません。
- (注5) 主要投資対象である親投資信託受益証券において、信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用(自2019年4月16日至2019年12月31日)当該親投資信託受益証券に係る信託財産の純資産総額のうち、当ファンドに対応する部分の年率0.45%以内の額(自2020年1月1日至2020年4月13日)当該親投資信託受益証券に係る信託財産の純資産総額のうち、当ファンドに対応する部分の年率0.50%以内の額

<お知らせ>

該当事項はありません。

ピクテ・バイオ医薬品マザーファンド

運用状況のご報告

第20期（決算日：2020年4月13日）
（計算期間：2019年4月16日～2020年4月13日）

受益者のみなさまへ

「ピクテ・バイオ医薬品マザーファンド」は、「ピクテ・バイオ医薬品ファンド（1年決算型）円コース」、「ピクテ・バイオ医薬品ファンド（毎月決算型）為替ヘッジなしコース」、「iTrustバイオ」、「ピクテ・バイオ医薬品ファンドⅡ（適格機関投資家専用）」および「ピクテ・バイオ医薬品ファンド（1年決算型）為替ヘッジなしコース」が投資対象とするマザーファンドで、信託財産の実質的な運用を行っております。

以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第20期の運用状況をご報告申し上げます。

●当マザーファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	世界主要市場のバイオ医薬品関連企業の株式に投資することにより、信託財産の積極的な成長を目指します。
主要投資対象	世界のバイオ医薬品関連企業の株式
主な投資制限	株式への投資割合…制限を設けません。 外貨建資産への投資割合…制限を設けません。

■最近5期の運用実績

決算期	基準価額		参考指数		株式 組入比率	純資産 総額
		期中 騰落率		期中 騰落率		
	円	%		%	%	百万円
16期(2016年4月13日)	44,666	△27.9	30,090	△30.2	98.5	14,282
17期(2017年4月13日)	48,068	7.6	31,535	4.8	99.0	22,125
18期(2018年4月13日)	50,394	4.8	34,579	9.7	98.0	36,087
19期(2019年4月15日)	54,640	8.4	37,476	8.4	98.1	77,309
20期(2020年4月13日)	54,327	△ 0.6	37,162	△ 0.8	99.5	76,832

(注) 参考指数は、ナスダック・バイオテック指数を委託者が円換算し、設定日(2000年4月14日)を10,000として指数化したものです。

■当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指数		株式 組入比率
		騰落率		騰落率	
(期首)	円	%		%	%
2019年4月15日	54,640	—	37,476	—	98.1
4月末	52,675	△ 3.6	36,016	△ 3.9	99.0
5月末	48,307	△11.6	33,537	△10.5	98.9
6月末	49,857	△ 8.8	34,878	△ 6.9	98.1
7月末	50,858	△ 6.9	34,856	△ 7.0	99.0
8月末	48,510	△11.2	33,269	△11.2	98.4
9月末	47,999	△12.2	32,278	△13.9	99.2
10月末	52,711	△ 3.5	35,311	△ 5.8	99.5
11月末	57,614	5.4	39,386	5.1	99.0
12月末	58,146	6.4	40,109	7.0	99.0
2020年1月末	55,079	0.8	37,998	1.4	97.7
2月末	55,338	1.3	37,439	△ 0.1	99.5
3月末	51,760	△ 5.3	35,754	△ 4.6	98.1
(期末)					
2020年4月13日	54,327	△ 0.6	37,162	△ 0.8	99.5

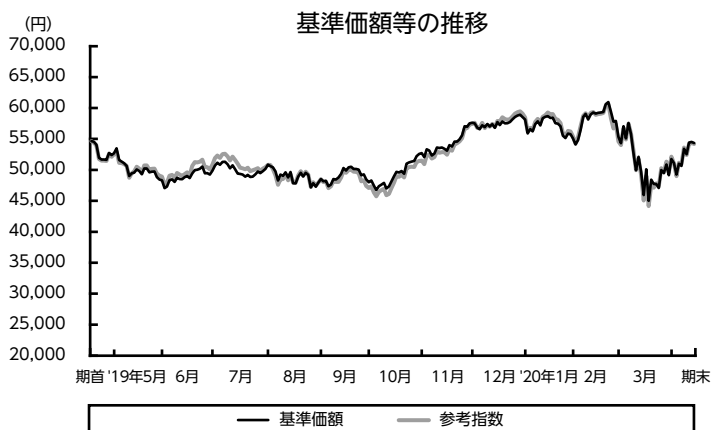
(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 参考指数は、ナスダック・バイオテック指数を委託者が円換算し、設定日(2000年4月14日)を10,000として指数化したものです。

■当期中の運用状況と今後の運用方針 (2019年4月16日から2020年4月13日まで)

1. 基準価額等の推移

当期の基準価額は、0.6%の下落となりました。



※参考指数は期首の基準価額に合わせて指数化しています。

○基準価額の高値・安値

期首	期中高値	期中安値	期末
19/4/15	20/2/21	20/3/17	20/4/13
54,640円	60,973円	45,021円	54,327円

◇主な変動要因

【当期中半】

- 下落↓ ・ 組入れているリジェネロン・ファーマシューティカルズ、アレクシオン・ファーマシューティカルズ、マイラン、ユナイテッド・セラピューティクスなどの株価が下落したこと
- 下落↓ ・ 円に対して米ドルが下落したこと

【当期後半】

- 上昇↑ ・ 組入れているリジェネロン・ファーマシューティカルズやバイオジェン、バーテックス・ファーマシューティカルズ、ギリアド・サイエンシズなどの株価が上昇したこと
- 下落↓ ・ 円に対して米ドルが下落したこと

2. 投資環境

- ・ バイオ医薬品関連株式市場は、期首から4月末にかけて、2020年に実施される米大統領選挙を控えて国民皆保険制度「メディケア・フォー・オール」導入などの医療制度を巡る政治家の発言に注目が集まり、バイオ医薬品株式を含むヘルスケアセクターへの影響が懸念されたことなどから下落しました。5月は、米中貿易摩擦の激化懸念を背景に世界的に株式市場が下落する中、下落しました。6月は、米連邦準備制度理事会（FRB）が景気減速に備えて金融緩和に転じる可能性が高まったとの観測を背景に世界の株式市場が堅調な動きとなる中で上昇しました。7月から10月中旬にか

けては、米上院金融委員が「薬剤費抑制のための処方薬薬価引き下げ法案」を可決したことや、米大統領選の民主党候補指名争いで左派のエリザベス・ウォーレン上院議員が急速に支持を伸ばしたことなどを背景に、ヘルスケアセクターへの影響が懸念されて下落しました。その後10月下旬にかけては、バイオジェンが2019年3月に開発を中止したアルツハイマー病治療薬候補について2020年に承認申請を行うことを発表したことなどが好感され、上昇しました。11月から12月までは、良好な治験結果や相次いだM&A（合併・買収）の動きを好感して上昇しました。1月から3月中旬にかけては、中国で発生した新型コロナウイルスの脅威が市場の重石となり、世界経済への先行き懸念から世界の株式市場が下落する中、バイオ医薬品関連市場も下落しました。その後期末にかけては、FRBによる流動性供給や米国政府による過去最大規模の経済支援政策が決定されたこと、新型コロナウイルス対応ワクチン開発や治験が速やかに進むとの期待から、上昇に転じました。

- ・為替市場は、期首から8月にかけて、米中貿易摩擦の激化や世界的な景気減速への懸念などを背景にFRBによる利下げ観測が高まったことから米金利が低下し、米ドル安・円高が進行しました。その後は、米中貿易協議の進展に対する期待が高まったこと、FRBによる早期の大幅利下げ観測が後退したことなどをを受けて10月中旬にかけて円安・米ドル高が進行しました。12月にかけては、米中貿易交渉の進展期待が高まったことから、米ドルは円に対して上昇しました。その後は、1月中旬にかけて、米中貿易協議の第一段階で署名したことなどを背景に、円安・ドル高が進行しました。1月下旬は、中国で発生した新型コロナウイルスの感染拡大で、世界経済への懸念が一気に高まったことで、円高・ドル安となりました。2月から3月前半は、1月の米国雇用統計が堅調であったことなどを受け安定した米国経済を背景に、円安・ドル高に転じる局面もありましたが、新型コロナウイルス感染拡大懸念が欧州など世界的に広まったことを受けて投資家心理が冷え込み、急激に円高・ドル安が進行しました。その後期末にかけては、米国の財政政策拡大への期待などを背景に投資家のリスク回避姿勢が後退したことから一時的に円安・ドル高となる場面もありました。

3. 組入状況

主に世界のバイオ医薬品関連企業の株式に投資を行ってまいりました。

◇国・地域別組入比率

【期首】

国・地域名	組入比率
米国	89.0%
スイス	5.4%
スペイン	2.0%
日本	0.7%
ケイマン諸島	0.6%
デンマーク	0.3%
フランス	0.2%

【期末】

国・地域名	組入比率
米国	93.2%
スペイン	3.5%
中国	1.4%
フランス	1.1%
アイルランド	0.2%
英国	0.1%

国・地域別では、米国などの比率が上昇しました。一方で、スイスなどの比率が低下しました。

(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

◇業種別組入比率

【期首】

業種名	組入比率
バイオテクノロジー	71.5%
医薬品	17.4%
ライフサイエンス関連	8.3%
ヘルスケア機器・用品	0.9%

【期末】

業種名	組入比率
バイオテクノロジー	78.1%
医薬品	12.7%
ライフサイエンス関連	8.3%
ヘルスケア機器・用品	0.3%

業種別では、バイオテクノロジーや医薬品などに投資しました。

(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

◇組入上位10銘柄

【期首】

銘柄名	国名	業種名	組入比率
セルジーン	米国	バイオテクノロジー	8.9%
ギリアド・サイエンシズ	米国	バイオテクノロジー	8.3%
リジェネロン・ファーマシューティカルズ	米国	バイオテクノロジー	7.5%
バイオジェン	米国	バイオテクノロジー	6.5%
アレクシオン・ファーマシューティカルズ	米国	バイオテクノロジー	6.4%
アムジェン	米国	バイオテクノロジー	6.1%
ロシュ・ホールディング(ADR)	スイス	医薬品	5.4%
PRAヘルス・サイエンシズ	米国	ライフサイエンス関連	4.6%
バーテックス・ファーマシューティカルズ	米国	バイオテクノロジー	4.0%
サイネオス・ヘルス	米国	ライフサイエンス関連	3.7%

【期末】

銘柄名	国名	業種名	組入比率
アムジェン	米国	バイオテクノロジー	8.5%
バイオジェン	米国	バイオテクノロジー	8.4%
リジェネロン・ファーマシューティカルズ	米国	バイオテクノロジー	7.9%
ギリアド・サイエンシズ	米国	バイオテクノロジー	7.8%
インサイト	米国	バイオテクノロジー	6.5%
バーテックス・ファーマシューティカルズ	米国	バイオテクノロジー	5.6%
ユナイテッド・セラピューティクス	米国	バイオテクノロジー	5.3%
アレクシオン・ファーマシューティカルズ	米国	バイオテクノロジー	4.7%
PRAヘルス・サイエンシズ	米国	ライフサイエンス関連	4.7%
ジャズ・ファーマシューティカルズ	米国	医薬品	4.3%

(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

期末の組入上位銘柄は、

- － アムジェン : 白血球生成促進剤や関節リウマチ治療薬などが主力で、治療薬の発見、開発、製造、販売などを手掛ける。
- － バイオジェン : 神経学、腫瘍学、免疫学などを中心とした新薬の開発、製造、販売を行う。
- － リジェネロン・ファーマシューティカルズ : がんや慢性炎症、関節リウマチなどの治療薬の研究開発や商品化を手がける。
- － ギリアド・サイエンシズ : HIVやC型肝炎など感染症治療薬の分野に強みを持つ。
- － インサイト : がん免疫治療薬などがん領域を中心に医薬品の開発、製造、販売を行う。

などとなりました。

4. 今後の運用方針

(1) 投資環境

バイオ医薬品関連企業は、画期的な治療薬を提供し続けるものと予想され、相対的に高い利益成長が期待されます。また魅力的な新薬候補や高い技術力を求めて大手医薬品企業がバイオ医薬品関連企業を買収する動きは継続すると見られ、これは株価にとってプラス要因になると見えています。今後、薬価引き下げの動きや治験結果の発表、決算の内容などが株価動向に影響を与える可能性などに注視が必要と考えます。また新型コロナウイルスの感染拡大が世界経済に悪影響を与え、株式市場全体の変動が大きくなる可能性にも注意が必要といえます。

(2) 投資方針

世界のバイオ医薬品関連企業の株式に投資を行ってまいります。

■ 1万口（元本10,000円）当たりの費用明細

項目	当期 (2019年4月16日~2020年4月13日)		項目の概要
	金額	比率	
平均基準価額	52,404円	—	期中の平均基準価額（月末値の平均値）です。
(a) 売買委託手数料 (株 式)	4円 (4)	0.007% (0.007)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ・ 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有価証券取引税 (株 式)	2 (2)	0.004 (0.004)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ・ 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) その他費用 (保 管 費 用) (そ の 他)	9 (7) (2)	0.018 (0.013) (0.005)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 ・ 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 ・ その他は、信託事務の処理等に要する費用
合計	15	0.029	

(注1) 上記の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、設定・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、各項目毎に小数第3位未満は四捨五入しています。

(注3) 各金額の円未満は四捨五入しています。

■ 当期中の売買および取引の状況（2019年4月16日から2020年4月13日まで）

株式

		買付		売付	
		株数	金額	株数	金額
外国	アメリカ	百株	千米ドル	百株	千米ドル
		135,434 (845)	553,285 (6,720)	108,540 (1,876)	557,882 (11,880)

(注1) 金額は受渡代金です。

(注2) 単位未満は切り捨てています。

(注3) ()内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
(a) 期中の株式売買金額	120,929,355千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	84,249,399千円
(c) 売買高比率(a)／(b)	1.43

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

(注2) 単位未満は切り捨てています。

■主要な売買銘柄 (2019年4月16日から2020年4月13日まで)

株式

買付				売付			
銘柄	株数	金額	平均単価	銘柄	株数	金額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
REGENERON PHARMACEUTICALS(アメリカ)	108	3,780,511	34,780	CELGENE CORP(アメリカ)	801	9,464,823	11,810
INCYTE CORP(アメリカ)	401	3,663,969	9,119	REGENERON PHARMACEUTICALS(アメリカ)	134	6,167,723	45,844
AMGEN INC(アメリカ)	154	3,313,827	21,478	ROCHE HOLDINGS LTD-SPONS ADR(アメリカ)	1,338	5,094,963	3,806
BIOGEN INC(アメリカ)	121	3,218,967	26,502	GILEAD SCIENCES INC(アメリカ)	544	4,160,083	7,638
GILEAD SCIENCES INC(アメリカ)	419	3,006,842	7,171	BIOGEN INC(アメリカ)	126	4,107,888	32,465
ALEXION PHARMACEUTICALS INC(アメリカ)	219	2,656,896	12,078	ALEXION PHARMACEUTICALS INC(アメリカ)	197	2,572,358	13,025
JAZZ PHARMACEUTICALS PLC(アメリカ)	168	2,424,595	14,389	AMGEN INC(アメリカ)	96	2,378,223	24,568
UNITED THERAPEUTICS CORP(アメリカ)	263	2,372,804	8,997	SYNEOS HEALTH INC(アメリカ)	366	2,065,104	5,627
BIOMARIN PHARMACEUTICAL INC(アメリカ)	239	1,951,363	8,143	VERTEX PHARMACEUTICALS INC(アメリカ)	69	1,677,657	24,254
GRIFOLS SA-ADR(アメリカ)	769	1,740,790	2,262	INCYTE CORP(アメリカ)	178	1,670,489	9,361

(注1) 金額は受渡代金です。

(注2) 単位未満は切り捨てています。

■利害関係人との取引状況等 (2019年4月16日から2020年4月13日まで)

該当事項はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人をいいます。

■特定資産の価格等の調査 (2019年4月16日から2020年4月13日まで)

該当事項はありません。

■組入資産の明細 (2020年4月13日現在)

外国株式

上場、登録株式

銘柄	期首(前期末)		当期末		業種等
	株数	株数	評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ・・・ニューヨーク市場)	百株	百株	千米ドル	千円	
TAKEDA PHARMACEUTIC-SP ADR (アメリカ・・・米国店頭市場)	2,624	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
ANI PHARMACEUTICALS INC	—	570	2,693	291,514	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
ACADIA PHARMACEUTICALS INC	2,989	2,466	10,801	1,169,005	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
ACORDA THERAPEUTICS INC	2,551	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
AGIOS PHARMACEUTICALS INC	—	1,084	4,324	468,032	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
AIMMUNE THERAPEUTICS INC	—	3,089	4,949	535,721	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
ALEXION PHARMACEUTICALS INC	3,262	3,487	33,562	3,632,482	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
AMGEN INC	2,182	2,756	60,158	6,510,910	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
AMICUS THERAPEUTICS INC	—	4,727	4,921	532,624	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
BEIGENE LTD-ADR	—	466	7,017	759,489	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
BIOMARIN PHARMACEUTICAL INC	—	2,048	16,294	1,763,515	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
BIOGEN INC	1,918	1,868	59,977	6,491,340	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
BLUEBIRD BIO INC	—	134	625	67,649	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
CELGENE CORP	6,510	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
CLOVIS ONCOLOGY INC	1,500	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
COHERUS BIOSCIENCES INC	—	2,051	3,426	370,883	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
DBV TECHNOLOGIES SA-SPON ADR	1,247	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
DENALI THERAPEUTICS INC	—	1,629	3,187	344,944	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
EAGLE PHARMACEUTICALS INC	1,064	736	3,575	386,964	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
ESPERION THERAPEUTICS INC	—	1,221	4,344	470,244	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
EXELIXIS INC	1,903	2,243	4,042	437,533	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
GW PHARMACEUTICALS-ADR	—	94	914	98,930	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
GENOMIC HEALTH INC	1,711	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
GILEAD SCIENCES INC	8,782	7,529	55,348	5,990,381	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
GRIFOLS SA-ADR	7,212	12,506	24,725	2,676,056	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
H LUNDBECK A/S-SPN ADR	458	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
HALOZYME THERAPEUTICS INC	1,795	4,795	8,621	933,110	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
ILLUMINA INC	—	233	6,716	726,958	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
IMMUNOMEDICS INC	—	2,694	5,292	572,778	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
INCYTE CORP	3,067	5,300	46,013	4,980,056	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
INOVIO PHARMACEUTICALS INC	—	1,830	1,486	160,833	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
INNOVIVA INC	4,740	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
INTERCEPT PHARMACEUTICALS IN	1,079	1,090	7,550	817,192	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
INTRA-CELLULAR THERAPIES INC	1,486	2,348	3,867	418,585	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
IONIS PHARMACEUTICALS INC	867	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
IRONWOOD PHARMACEUTICALS INC	—	7,729	7,535	815,605	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
LEXICON PHARMACEUTICALS INC	6,382	12,020	2,259	244,589	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
MEDICINES COMPANY	1,002	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
MYRIAD GENETICS INC	3,376	4,636	7,070	765,223	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス

銘柄	期首(前期末)	当期末				業種等
	株数	株数	評価額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ…米国店頭市場)	百株	百株	千米ドル	千円		
NEKTAR THERAPEUTICS	—	1,158	2,175	235,443	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
NEUROCRINE BIOSCIENCES INC	342	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
OPKO HEALTH INC	7,348	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
PRA HEALTH SCIENCES INC	3,103	3,729	33,239	3,597,542	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
PTC THERAPEUTICS INC	1,189	1,988	9,031	977,492	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
PACIRA BIOSCIENCES INC	1,999	2,858	10,201	1,104,160	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
PORTOLA PHARMACEUTICALS INC	1,030	3,039	2,161	233,904	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
PUMA BIOTECHNOLOGY INC	1,276	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
RADIUS HEALTH INC	2,565	4,253	5,622	608,535	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
REGENERON PHARMACEUTICALS	1,345	1,087	55,773	6,036,324	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
ROCHE HOLDINGS LTD-SPONS ADR	11,197	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
SANOFI-ADR	—	1,674	7,610	823,709	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
SEATTLE GENETICS INC	—	256	3,082	333,577	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
SUPERNUS PHARMACEUTICALS INC	2,384	4,497	8,460	915,671	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
SYNEOS HEALTH INC	5,105	3,887	19,287	2,087,440	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
UNITED THERAPEUTICS CORP	2,109	3,914	37,526	4,061,502	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
VANDA PHARMACEUTICALS INC	3,936	5,300	6,027	652,308	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
VERTEX PHARMACEUTICALS INC	1,495	1,599	39,446	4,269,268	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
ZAI LAB LTD-ADR	—	461	2,765	299,308	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
MYLAN NV	7,971	12,880	20,711	2,241,575	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
ALKERMES PLC	749	3,934	6,070	657,022	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
HORIZON THERAPEUTICS PLC	—	521	1,619	175,230	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
JAZZ PHARMACEUTICALS PLC	1,668	2,786	30,570	3,308,608	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
NOVOCURE LTD	1,385	344	2,409	260,792	ヘルスケア機器・サービス	
THERAVANCE BIOPHARMA INC	1,736	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
WAVE LIFE SCIENCES LTD	—	1,943	1,521	164,686	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
合計	株数・金額 銘柄数<比率>	129,647 44	155,510 50	706,617 —	76,477,261 <99.5%>	

(注1) 邦貨換算金額は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率です。

(注3) 株数・評価額の単位未満は切り捨てています。

(注4) 一印は組入れがありません。

■投資信託財産の構成 (2020年4月13日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
株式	千円 76,477,261	% 95.1
コール・ローン等、その他	3,948,451	4.9
投資信託財産総額	80,425,712	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切り捨てています。

(注2) 当期末における外貨建純資産 (76,690,151千円) の投資信託財産総額 (80,425,712千円) に対する比率は95.4%です。

(注3) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当期末における邦貨換算レートは、1米ドル=108.23円です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2020年4月13日現在)

項目	当期末
(A)資産	80,425,712,100円
コール・ローン等	408,198,036
株式(評価額)	76,477,261,359
未収入金	3,540,252,705
(B)負債	3,592,826,795
未払金	3,517,643,727
未払解約金	75,180,000
未払利息	597
その他未払費用	2,471
(C)純資産総額(A-B)	76,832,885,305
元本	14,142,800,309
次期繰越損益金	62,690,084,996
(D)受益権総口数	14,142,800,309口
1万口当たり基準価額(C/D)	54,327円

<注記事項>

(貸借対照表関係)

(注1) 期首元本額	14,148,736,223円
期中追加設定元本額	6,361,864,075円
期中一部解約元本額	6,367,799,989円
(注2) 1口当たり純資産額	5.4327円
(注3) 期末における元本の内訳	
ピクテ・バイオ医薬品ファンド(毎月決算型) 為替ヘッジなし	13,050,161,108円
ピクテ・バイオ医薬品ファンド(1年決算型) 為替ヘッジなし	518,508,469円
ピクテ・バイオ医薬品ファンド(1年決算型) 円コース	507,233,072円
iTrustバイオ	66,885,729円
ピクテ・バイオ医薬品ファンドII(適格機関投資家専用)	11,931円

■損益の状況

当期(自2019年4月16日 至2020年4月13日)

項目	当期
(A)配当等収益	467,761,105円
受取配当金	459,786,030
受取利息	6,992,478
その他収益金	1,846,155
支払利息	△ 863,558
(B)有価証券売買損益	1,630,968,445
売買益	14,180,187,336
売買損	△ 12,549,218,891
(C)その他費用等	△ 15,225,484
(D)当期損益金(A+B+C)	2,083,504,066
(E)前期繰越損益金	63,160,610,800
(F)追加信託差損益金	25,491,065,925
(G)解約差損益金	△ 28,045,095,795
(H)計(D+E+F+G)	62,690,084,996
次期繰越損益金(H)	62,690,084,996

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)その他費用等にはその他費用に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、一部解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<お知らせ>

該当事項はありません。